

1. 事業実施の方針

- (1) 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など様々な事柄に関する意思決定を行う上で支援が必要とされる方に対する実践的意思決定支援モデルの開発事業
- (2) 実践的意思決定支援モデルの普及及び啓発事業
- (3) 実践的意思決定支援モデルの実践及び検証事業
- (4) 意思決定支援における評価指標の開発事業
- (5) 国内外における意思決定支援モデルの調査及び研究事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業の実施に関する事項

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容および実施日	実施場所	従事者および受益者
実践的意思決定支援ファシリテーション(PSF)研修事業	対面研修(1回)	津別町	担当者各2名 受益者23名
トーキングマット(TM)普及啓発事業	トーキングマット基礎研修(5回)	横浜3回およびオンライン2回	担当者各回1~2名 受益者50名
	フレンズの会(フォローアップ含む)2回	オンライン	担当者各回1~2名 受益者20名以上
	TM紹介講座3回(対面、オンライン)	千葉、新潟、オンライン他	担当者各回1~2名程度 受益者50名
	アドボケイト養成に係る専門基礎研修	オンライン	担当者各回1~2名程度 受益者20名
リスクのとらえ直し(PRT)研修事業	対面研修(1回)、オンライン研修(1回)	東京都・オンライン	担当者2名、受益者40名
重度障害者の選好記録化と共有研修事業	対面研修(1回)、オンライン研修(1回)	東京都・オンライン	担当者2名、受益者20名程度
フォロワーシステムを活用した高齢者・障害者の意思決定支援モデル	推進本部運営(事業戦略会議12回)、全体委員会3回、研修WG6回、アドボケイトWG6回、評価WG6回、当事者WG10回、政策的シンポジウム1回 第1層地域支援(津別町・鶴ヶ島市・文京区ほか) 第2層普及啓発(オンラインコンテンツ発信、フォロワーシステム勉強会4回・津別町シンポジウム等)	津別町、鶴ヶ島市、相模原市、文京区、ほかオンライン	担当者 事務局10名(推進本部5名・第1層3名、第2層2名)※延べ数 各研修会1~3名程度 実践シンポジウム 受益者 100名超(全体委員会14名、WG30名、各種研修会等) 実践シンポジウム500名

<p>かながわ共同 会意思決定支 援コンサルテ ィング事業</p>	<p>(社福) かながわ共同会との契 約による意思決定支援に関する 研修実施、コンサルティング</p>	<p>希望の丘 はだの、 法人本部</p>	<p>担当講師 1~2 (各回) 希望の丘はだの12回 (受益者 60 名 程 度) 権利擁護支援担当者に対するコン サルティング 10 回程度 (受益者 4~5 名程度)</p>
<p>横浜意思決定 支援プロジェ クト</p>	<p>横浜国立大学との契約による、 横浜市内の特別支援学校、及び 若葉台地区の住民に対する研修 実施、コンサルティング</p>	<p>横浜市</p>	<p>担当講師 約 2 名 (各回) 横浜市内の特別支援学校における 研修 約 5 回 (受益者・30 名程度) 地域住民向け研修 約 2 回 (受益 者・20 名程度)</p>
<p>広報、オンラ インコンテン ツ開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web コンテンツの作成 ・ オンライン勉強会の開催 (年 4 回) ・ フォロワーシステムを中心に したホームページの再構築 ・ READYFOR サイトおよび SNS で の活動報告 ・ 冊子等の作成・印刷・配布 ・ 問合せ地域に対する営業活動 	<p>オンライ ン</p>	<p>担当者 10 名</p>
<p>研修・講演事 業</p>	<p>法人に依頼のある研修等の実施 (15 回)</p>	<p>北海道、 東京、千 葉、福 井、広 島、大分 他オンラ イン</p>	<p>担当者各回 1~3 名程度 受益者各回 20~50 名程度</p>